

「平成19年度関西電力グループ経営計画」の骨子

基本的な考え方

中長期計画の初年度として、引き続き、CSRを軸に「安全最優先・お客さま価値の創造・人づくり」の3つのアクションプランを展開し、関西電力グループとその従業員の成長の好循環を生み出していけるよう、全体最適の視点を大切にしながら総合力を発揮し、グループ全体で力強く前進していく。

関西電力グループ中長期計画

1. 当社グループ企業像の具体的姿
 - ・目指すべき企業像の具体的姿
 2. 取組方針（目指すべき企業像実現のための方針）
 - ・グループ全体の事業経営の質を高める
 - ・さらにグループの成長を押し上げる
 - ・従業員の成長を促す
- 「部門中長期計画」については参考資料を参照

平成19年度関西電力グループ経営計画 アクションプラン

1. 安全最優先の組織風土の醸成
 - (1) 安全確保を最優先とする意識改革の継続
 - (2) 社内外におけるコミュニケーションの着実な継続
 - (3) リスク管理の観点を加味した適正な業務遂行の徹底
2. グループの総合力によるお客さま価値の創造
 - (1) 原子力を基軸とした最適な電源構成の構築
 - (2) 効率的で高品質な電力流通設備の維持
 - (3) お客さまのお役に立つ価値の迅速な創造・提供
 - 販売目標（平成19～21年度の3ヵ年合計）
 - オール電化住宅：38万軒
 - 蓄熱システムをはじめとする電化機器・システム：4,200件
 - (4) グループ事業・海外電気事業の推進
 - ・グループの総合力を発揮したグループ事業展開
 - <総合エネルギー事業>
 - <情報通信事業>
 - 販売目標（平成19年度末時点の契約回線数）
 - 家庭向け通信サービス：75万件
 - （うちF T T Hサービス）：67万件
 - 企業向け通信サービス：2.1万回線
 - <生活アメニティ関連事業>
 - ・海外電気事業への積極的な進出

(5) 環境問題への対応をはじめとする事業活動全般にわたる業務の遂行

- ・ 地球温暖化をはじめとする環境問題への積極的な取り組みの推進
CO₂排出量の低減目標（平成20～24年度の5ヵ年平均）
0.282kg-CO₂/kWh程度
- ・ 燃料ポートフォリオの再構築
- ・ 研究開発の推進
 - <安全確保・安定供給に資する研究開発>
 - <競争力強化による販売拡大につながる研究開発>
 - <革新的技術シーズの実用化への挑戦>

3. 一人ひとりの成長を支えるしくみづくり

- (1) グループの技術力維持・向上に向けた人材育成・技術継承
- (2) 従業員が能力を最大限に発揮できる人材マネジメントの推進
- (3) 従業員が安心して働けるしくみの構築

財務体質強化指標等

- ・ 財務体質強化指標

連結自己資本比率	30%程度（平成19年度末目途）
連結有利子負債残高	3.0兆円程度（平成19年度末目途）

- ・ グループ事業における目標

外売上高 ¹	2,500億円以上（平成19年度）
経常利益 ²	330億円以上（平成19年度）

1 連結子会社の外売上高の合計（附帯事業のガス事業を含む）

2 連結子会社の経常利益の合計（附帯事業のガス事業および持分法適用会社の持分相当額を含む）

設備投資

・設備投資額推移

(億円)

		平成18年度 (推定実績)	平成19年度	平成20年度
電気事業	電 源	869	1,138	1,379
	送 電	300	408	416
	変 電	214	271	310
	配 電	320	342	336
	そ の 他	149	247	295
	計	1,852	2,406	2,736
	原子燃料	450	585	683
	電気事業計	2,302	2,991	3,419
附帯事業		54	41	65
総 計		2,356	3,032	3,484

注：関西電力単独の設備投資額

< 参考：設備資金調達計画 >

(億円)

		平成18年度 (推定実績)	平成19年度
総工事資金 調達所要額		2,356	3,032
自己資金		3,655	3,249
	内部留保等	3,655	3,249
	増資(発行額)	(-)	(-)
	増資手取額	-	-
外部資金		1,299	217
	社債(発行額)	(1,845)	(2,100)
	社債手取額	442	1,370
	借入金	1,741	1,587